

つた。又十人塚古墳と箱式棺の間には多少階級が認められたが、本  
域に於ては其の差があまり存しないやうに考へられる。以上は本  
の調査に於て検討せられたことであり、本調査を基礎として関係資料を  
研究の上改ためて論文を作成する積りである。

### 歴史学的研究

本調査は総合調査として歴史学的検討を必要とし、この方面の調査は  
調査員 大分大学助教富来隆が担当した。然して其の成果を期待す  
る。

### 遺物の保存

十人塚古墳全見の遺物の保管は論文作成送別村女子大學生代文化研究  
所に於て資料として保管、研究終了と同時に森町公民館に永久保管の

希望があるが、擔当者として適当な處置と考へ資料保管を森町に依頼

することを希望する。

# 后棺調査表

第一調査区(千人塚古墳) 注(十)は名指部を示す。一八〇は一八八〇号

1		骨
180x180	円墳	封土形式
一八〇		封高
(内測) 180x180	箱式棺	形式
三板	石蓋	蓋石
粘土目張		棺外設置
朱塗		朱
二	赤瑪瑙	勾玉
一五	碧玉	管玉
一三	青硝子	小玉
六	竹製	櫛
一	形式不明	鏃
東西		方位
四体		人骨

終